

アッヴィ、2017年度第3四半期の業績を発表

November 15, 2017

本資料は、米国アッヴィ社が2017年10月27日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、2017年11月15日、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

アッヴィ、2017年度第3四半期の業績を発表

- 第3四半期の希薄化後EPSはGAAPベースで1.01ドル、調整希薄化後EPSは前年同期比16.5%成長の1.41ドル
- 第3四半期の純売上高は69億9,500万ドル、調整後売上高は営業ベースで前年同期比8.8%増
- 第3四半期のヒュミラの全世界での売上高は47億100万ドル、報告ベースで15.8%増、営業ベースで14.8%増。第3四半期のヒュミラの米国国内での売上高は19.1%増の31億5100万ドル
- 第3四半期のイムブルピカの全世界での純売上高は37.3%増の6億8,800万ドル
- 2017年度のGAAPの希薄化後EPSの見通しを4.27~4.29ドル、2017年度の調整希薄化後EPSの見通しを中間値で14.9%成長となる5.53~5.55ドルへ修正
- 長期戦略および業績目標の達成状況は、2015年10月に掲げた長期見通しを達成あるいは上回り、2020年にはヒュミラの全世界での売上高は210億ドルに迫る見込み
- 高配当・配当成長による株主への還元を公約し、2018年2月の配当より11%の増配を発表
- 2018年度の調整後EPSの見通しは、2017年度見通しの中間値比で約15~19%成長の6.37~6.57ドル

イリノイ州ノースシカゴ、2017年10月27日—グローバルなバイオ医薬品企業であるアッヴィ（NYSE：ABBV）は、2017年度第3四半期（2017年9月30日終了）の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「ヒュミラを巡りAmgen社と特許訴訟上の和解を得たこと、新機軸製品の後期パイプラインが大きく前進したことなど、戦略的優先事項における大きな成果に満足しています。第3四半期の画期的な成果としては、数件のピボタル試験において有望な結果が得られたこと、規制当局によるマヴィレットの承認、elagolixの米国における承認申請および優先審査の指定が挙げられます。当社は引き続き、長期戦略の遂行により成果を挙げ、持続的な業績の達成により業界のけん引役となることを確信しています。」

第3四半期の業績

- 第3四半期の全世界での純売上高は、GAAPベースで前年同期比8.8%増の69億9,500万ドルでした。営業ベースの調整後売上高は、為替レート変動による0.7%のプラス影響を除くと、8.8%増でした。
- ヒュミラの全世界での売上高は、為替レート変動による1.0%のプラスの影響を除くと、報告ベースで15.8%増、営業ベースで14.8%増となりました。第3四半期の米国国内でのヒュミラの売上高は19.1%増でした。米国外でのヒュミラの売上高は、為替レート変動による2.9%のプラスの影響を除くと、6.8%増でした。
- 第3四半期のイムブルピカの全世界での純売上高は、37.3%増の成長となる6億8,800万ドルで、そのうち米国国内の売上高は5億7,400万ドル、米国外利益分配が1億1,400万ドルでした。
- 第3四半期の売上総利益率はGAAPベースで76.9%でした。調整後売上総利益率は80.8%でした。
- 純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAPベースで20.7%でした。調整後の純売上高に占める販売費および一般管理費の割合は20.7%でした。
- 売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで17.5%でした。調整後の研究開発費の割合は、パイプラインへの投資を反映し、17.0%となりました。
- 第3四半期におけるGAAPベースの営業利益率は38.7%でした。調整後営業利益率は43.1%でした。
- GAAPベースの純支払利子は2億5,200万ドルでした。第3四半期におけるGAAPベースの税率は22.1%、調整後の税率は19.0%でした。
- 第3四半期における希薄化後1株当たり利益（EPS）は、GAAPベースで1.01ドルでした。調整希薄化後EPSは、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、16.5%増の1.41ドルでした。

第3四半期の主な出来事

- 第3四半期における希薄化後1株当たり利益（EPS）は、GAAPベースで1.01ドルでした。調整希薄化後EPSは、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、16.5%増の1.41ドルでした。
- アツヴィは、生物学的製剤の疾患修飾性抗リウマチ薬（DMARDs）による十分な治療効果が見られない、またはDMARDsに不耐性を示す中等度から重度の間節リウマチ患者さんを対象として、経口選択的JAK1阻害剤upadacitinib（ABT-494）を評価した第III相（SELECT-BEYOND）試験より得た肯定的なトップラインデータを発表しました。試験結果は、12週間の治療によりupadacitinibの両用量群（1日1回15 mgまたは30 mg投与）で主要評価項目であるACR20%改善および低疾患活動性、ならびに全ての副次的評価項目を達成したことを示すものでした。upadacitinibの安全性プロファイルは、これまでに報告された第II相試験および第III相（SELECT-NEXT）試験と一致しており、新たな安全性シグナルは検出されませんでした。試験結果の詳細は、近日開催の学会で発表される予定です。
- アツヴィは、外用療法による十分な治療効果が見られない、または外用療法が臨床上当てない中等度から重度の成人アトピー性皮膚炎患者さんを対象とした、upadacitinibの後期第II相無作為化プラセボ対照投与量決定試験より得た肯定的なトップラインデータを発表しました。16週時点の結果は、全ての投与量（1日1回30/15/7.5 mg）で主要評価項目ならびに全ての皮膚および痒み特異的な副次的評価項目において、upadacitinibによる治療を受けた患者さんにプラセボと比較して統計的に有意な改善が見られたことを示すものでした。さらに、治療開始後1週間以内に痒みの軽減、2週間以内に皮膚症状の改善が見られました。新たな安全性シグナルは検出されず、この患者集団におけるupadacitinibの安全性プロファイルは第III相試験でさらに検討されることとなります。試験結果の詳細は、近日開催の学会で発表される予定です。
- アツヴィは、リツキシマブ（遺伝子組換え）との併用によるベネトクラスの第III相（MURANO）試験で主要評価項目が達成されたことを発表しました。試験結果は、再発・難治性慢性リンパ性白血病（CLL）患者さんにおいて、ベネトクラス・リツキシマブ（遺伝子組換え）併用療法はベンダムスチン塩酸塩・リツキシマブ（遺伝子組換え）併用療法と比較して無増悪生存期間を延長することを示すものでした。重篤な有害事象および最もよく見られる有害事象、ならびに治療中死亡率を含む安全性に関する結果については、現在解析が進められています。本試験の詳細な結果は承認申請の裏付けとされ、近日開催の学会で発表される予定です。ベネトクラスはアツヴィおよび、Rocheグループ傘下のGenentech社による共同で開発が進められています。
- アツヴィは、全身療法第1選択あるいはそれ以降の選択がいずれも奏功しない慢性移植片対宿主病（慢性GVHD）の成人患者さんに対する治療薬として、イムブルピカ（イブルチニブ）が米食品医薬品局（FDA）の承認を得たことを発表しました。イムブルピカは、幹細胞移植あるいは骨髄移植後に発症する可能性のある重篤な衰弱性合併症である慢性GVHDの成人患者さんに対する治療薬としては初めて、そして唯一承認を受けた治療法です。この適応症は、イムブルピカががん治療以外で初めて承認を受けたものであり、米国内ではイムブルピカの6つ目の適応症となります。イムブルピカの開発および商品化は、Jansen Biotech社との共同で進められています。
- アツヴィは、慢性C型肝炎ウイルス（HCV）感染症の成人患者さんに対するパンジェノ型治療薬であるマヴィレット（グレカプレビル水和物/ピブレンタスビル）が、FDA、欧州委員会、および日本の厚生労働省の承認を得たことを発表しました。マヴィレットは、肝硬変を伴わない未治療の全ての遺伝子型（1~6型）の患者さんに対する、1日1回、リバビリン非併用、8週間投与による治療法です。この集団はHCV感染症患者さんの大多数を占めます。またマヴィレットは、代償性肝硬変、慢性腎疾患、遺伝子型3型HCV感染症といった特定の治療困難例に対する新たな治療選択となります。
- アツヴィは、Neurocrine Biosciences社との共同により、子宮内膜症性疼痛に対する治療として検討されている経口ゴナドトロピン放出ホルモン拮抗薬の治験薬 elagolixがFDAによる優先審査指定を受けたことを発表しました。第III相試験2試験では、子宮内膜症に伴う、連日性月経骨盤痛、非月経骨盤痛、および性交痛の3種類の疼痛の軽減において、elagolixのプラセボに対する優位性が示されました。FDAによる承認が得られれば、elagolixは過去10数年で初めての子宮内膜症性疼痛に対する新たな薬物治療となります。
- アツヴィは、c-Met過剰発現非小細胞肺癌に対するアツヴィの抗体薬物複合体ABBV-399治験薬およびBristol-Myers Squibb社の免疫療法オプジーボ（ニボルマブ）の併用治療を評価する臨床試験におけるBristol-Myers Squibb社との協力を発表しました。さらに、癌免疫治療研究において、Turnstone Biologics社の次世代型腫瘍溶解性ウイルスを用いた免疫療法のうち3つまでの独占的ライセンス契約を含むTurnstone Biologics社との協力の合意、ならびに、Harpoon Therapeutics社の3重特異性T細胞活性化コンストラクトプラットフォームとアツヴィにおける研究段階の癌免疫治療標的を組み合わせることを目指したHarpoon Therapeutics社との協力の合意を発表しました。また、アルツハイマー病を含む神経変性疾患に対する治療薬の開発および商品化における、非公開バイオテクノロジー企業Alector社との世界的戦略的提携を発表しました。
- アツヴィは、Amgen社のアダリムマブバイオ後続品を巡るAmgen社との全ての知的財産訴訟における世界的な和解を発表しました。和解契約の条件に基づき、アツヴィは、ヒュミラに関するアツヴィの知的財産についての非独占的ライセンスを、米国内では2023年1月31日より、EU諸国の大半で2018年10月16日より、その他アツヴィが知的財産を所有する国では別途定める日付よりAmgen社に供与することとなりました。

2017年度通年の見直し

アツヴィは、2017年度通年のGAAP希薄化後EPSの見直しを4.27~4.29ドルへと修正しています。それによりアツヴィは、中間値での14.9%の成長を反映し、2017年度通年の調整後希薄化EPSの見直しを5.53~5.55ドルと予測しています。2017年度の調整希薄化後EPSの見直しには、1株当たり1.26ドルの無形資産の償却費、偶発的対価の公正価格の変動、およびその他の特定項目は含まれておりません。

長期戦略および業績目標の達成状況

アツヴィは本日、2015年10月に掲げた長期見通しの達成状況を含む、当社の長期戦略および業績目標に関する最新情報を公表いたします。アツヴィは当該長期見通しを達成あるいは上回り、2020年にはヒュミラの全世界での売上高が210億ドルに迫る見込みです。2018年度の調整後EPSの見直しは、2017年度改訂版見通しの中間値比で約15~19%成長の6.37~6.57ドルの範囲を想定しています。2018年度の調整希薄化後EPSの見直しには、無形資産の償却費、偶発的対価の公正価格の変動、およびその他の特定項目は含まれておりません。戦略に関する最新情報をまとめたスライド資料は当社投資家向けウェブサイトinvestors.abbvie.com上で公開しております。

11%の増配を公約

同様に本日、2018年1月12日時点の登録株主に対する2018年2月15日の配当より、四半期配当金の1株当たり0.64ドルから1株当たり0.71ドルへの増配が取締役会により決定されたことを発表いたします。これは約11%の増配に相当し、成長配当による株主への還元に対するアツヴィの強い決意を示すものです。2013年の創業より、アツヴィは77%を超える増配を達成しております。アツヴィは、25年以上連続で増配している企業であることを示すS&P Dividend Aristocrats Indexの一員です。

アッヴィについて

アッヴィは、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する革新的な先進治療薬の開発に努める研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、オンコロジー、ウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。

よろしければTwitterアカウント@abbVieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の約1,000人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。

Conference Call

アッヴィの主催により、本日前8:00（中部時間）に投資家のみなさまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第3四半期の業績についての議論に加え、当社の長期戦略および業績目標の達成状況をご報告いたします。電話会議はアッヴィ投資家向けウェブサイト investors.abbvie.com 上でインターネット配信されます。戦略に関する本日の最新情報をまとめたスライド資料は当社投資家向けウェブサイト上でも公開しております。電話会議のアーカイブは午前11:00（中部時間）以降ご覧になれます。

非GAAPの業績

2017年度および2016年度の業績に関して、調整前（GAAP）および調整後（非GAAP）の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目（以下に掲載する調整表に記載）を除外しています。アッヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアッヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2017年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

アッヴィ 今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアッヴィの2016年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

アッヴィ

主要製品の売上高

第3四半期（2017年9月30日終了）

（未監査）

				前年同期比（2016年第3四半期）				
	純売上高（単位：100万米ドル）				米国外		合計	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$4,586	\$2,409	\$6,995	13.3%	0.9%	3.0%	8.8%	9.5%
Humira	3,151	1,550	4,701	19.1	6.8	9.7	14.8	15.8
Imbruvica ^b	574	114	688	31.0	80.7	80.7	37.3	37.3
HCV	60	216	276	(19.5)	(29.8)	(28.7)	(27.7)	(26.8)
Lupron	161	40	201	4.1	1.6	3.5	3.6	4.0
Creon	215	—	215	14.8	n/a	n/a	14.8	14.8
Synagis	—	116	116	n/a	23.5	21.0	23.5	21.0
Synthroid	191	—	191	1.5	n/a	n/a	1.5	1.5
AndroGel	147	—	147	(14.9)	n/a	n/a	(14.9)	(14.9)
Kaletra	16	69	85	(39.2)	(40.4)	(38.2)	(40.2)	(38.4)
Sevoflurane	19	81	100	0.5	(3.3)	(3.4)	(2.6)	(2.7)
Duodopa	16	78	94	56.4	16.6	21.5	22.0	26.3

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a 調整後売上高には特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アッヴィ

主要製品の売上高

9カ月（2017年9月30日終了）

（未監査）

				前年同期比（2016年9カ月）				
	純売上高（単位：100万米ドル）			米国外			合計	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
調整後売上高 ^a	\$13,284	\$7,193	\$20,477	14.1%	1.2%	0.8%	9.2%	9.1%
Humira	9,048	4,487	13,535	19.8	6.8	6.0	15.1	14.8
Imbruvica ^b	1,559	306	1,865	36.0	75.4	75.4	41.2	41.2
HCV	124	640	764	(56.6)	(30.5)	(30.7)	(36.7)	(36.9)
Lupron	488	117	605	0.6	(0.5)	(0.1)	0.4	0.5
Creon	596	—	596	15.3	n/a	n/a	15.3	15.3
Synagis	—	456	456	n/a	(1.7)	(0.8)	(1.7)	(0.8)
Synthroid	576	—	576	3.1	n/a	n/a	3.1	3.1
AndroGel	437	—	437	(12.7)	n/a	n/a	(12.7)	(12.7)
Kaletra	54	256	310	(39.9)	(24.3)	(21.7)	(27.7)	(25.7)
Sevoflurane	56	255	311	(2.4)	(3.8)	(5.5)	(3.5)	(4.9)
Duodopa	44	211	255	70.8	12.3	11.7	19.2	18.7

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

^a 調整後売上高には特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」をご参照ください。変化率は調整後売上高を用いて算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アツヴィ

連結損益計算書

第3四半期および9カ月（2016年および2017年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第3四半期 (9月30日終了)			9カ月 (9月30日終了)		
	2017		2016	2017		2016
純売上高	\$ 6,995		\$ 6,432	\$ 20,477		\$ 18,842
売上原価	1,616		1,504	4,760		4,278
販売費および一般管理費	1,452		1,381	4,324		4,202
研究開発費	1,222		1,106	3,580		3,176
外部調達による仕掛研究開発費	—		80	15		160
営業経費合計	4,290		4,071	12,679		11,816
営業利益	2,705		2,361	7,798		7,026
支払利子（正味）	252		250	752		675
正味為替差損益	9		(4)	28		313
その他費用（正味）	349		101	484		152
法人税控除前利益	2,095		2,014	6,534		5,886
法人税	464		416	1,277		1,324
純利益	\$ 1,631		\$ 1,598	\$ 5,257		\$ 4,562
希薄化後1株当たり利益	\$ 1.01		\$ 0.97	\$ 3.27		\$ 0.78
調整後希薄化後1株当たり利益 ^a	\$ 1.41		\$ 1.21	\$ 4.11		\$ 3.62
希薄化後の加重平均発行済株式数	1,603		1,640	1,602		1,633

^a 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2017年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2017年第3四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 2,095	\$ 1,631	\$ 1.01
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	268	201	0.13
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	32	32	0.02
偶発的対価の公正価格の変動	401	401	0.25
訴訟引当金	4	3	—
その他	6	5	—
調整後（非GAAP）	\$ 2,806	\$ 2,273	\$ 1.41

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。その他には、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2017年第3四半期			
	売上原価	販売費および 一般管理費	研究開発費	その他費用 (正味)
調整前（GAAP）	\$ 1,616	\$ 1,452	\$ 1,222	\$ 349
特定項目を調整：				
無形固定資産の償却	(268)	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	(32)	—
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	(401)
訴訟引当金	—	(4)	—	—
その他	(6)	—	—	—
調整後（非GAAP）	\$ 1,342	\$ 1,448	\$ 1,190	\$ (52)

3. 以下に詳細を示すとおり、2017年度第3四半期の調整後税率は19.0%でした。

	2017年第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 2,095	\$ 464	22.1%
特定項目	711	69	9.7%
調整後 (非GAAP)	\$ 2,806	\$ 533	19.0%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2016年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年第3四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前 (GAAP)	\$ 2,014	\$ 1,598	\$ 0.97
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	208	168	0.11
外部調達による仕掛研究開発費	80	80	0.05
買収関連費用	123	70	0.04
偶発的対価の公正価格の変動	104	104	0.06
その他	(40)	(26)	(0.02)
調整後 (非GAAP)	\$ 2,489	\$ 1,994	\$ 1.21

外部調達による仕掛研究開発費は主に、研究開発提携を反映しています。買収関連費用には主に、Stemcentrx社買収に関連する補償金、融資等の費用、ならびにPharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益、特許訴訟の和解に関連した前期特許料収益、および当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年第3四半期					
	売上高	売上原価	販売費 および 一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛 研究開発費	その他費用 (正味)
調整前 (GAAP)	\$ 6,432	\$ 1,504	\$ 1,381	\$ 1,106	\$ 80	\$ 101
特定項目を調整：						
無形固定資産の償却	—	(208)	—	—	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	(80)	—
買収関連費用	—	(53)	(16)	(54)	—	—
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	—	(104)
その他	(46)	(8)	3	(1)	—	—
調整後 (非GAAP)	\$ 6,386	\$ 1,235	\$ 1,368	\$ 1,051	\$ —	\$ (3)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年度第3四半期の調整後税率は19.9%でした。

	2016年第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 2,014	\$ 416	20.7%
特定項目	475	79	16.6%
調整後 (非GAAP)	\$ 2,489	\$ 495	19.9%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9カ月（2017年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2017年9カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 6,534	\$ 5,257	\$ 3.27
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	808	606	0.37
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	68	68	0.04
外部調達による仕掛研究開発費	15	15	0.01
買収関連費用	73	49	0.03
偶発的対価の公正価格の変動	547	546	0.34
訴訟引当金	97	65	0.04
その他	19	16	0.01
調整後（非GAAP）	\$ 8,161	\$ 6,622	\$ 4.11

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主に、サードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には、Pharmacylics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、主に当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2017年9カ月				
	売上原価	販売費および 一般管理費	研究開発費	外部調達に よる仕掛研究開 発費	その他費用 (正味)
調整前 (GAAP)	\$ 4,760	\$ 4,324	\$ 3,580	\$ 15	\$ 484
特定項目を調整：					
無形固定資産の償却	(808)	—	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	(68)	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	(15)	—
買収関連費用	(52)	(14)	(5)	—	(2)
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	(547)
訴訟引当金	—	(97)	—	—	—
その他	(14)	(5)	—	—	—
調整後 (非GAAP)	\$ 3,886	\$ 4,208	\$ 3,507	\$ —	\$ (65)

3. 以下に詳細を示すとおり、2017年度第3四半期の調整後税率は18.9%でした。

	2017年9カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 6,534	\$ 1,277	19.5%
特定項目	1,627	262	16.1%
調整後 (非GAAP)	\$ 8,161	\$ 1,539	18.9%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9カ月（2016年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2016年9カ月		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$ 5,886	\$ 4,562	\$ 2.78
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	554	445	0.27
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	70	70	0.04
外部調達による仕掛研究開発費	160	160	0.10
買収関連費用	327	229	0.15
偶発的対価の公正価格の変動	145	145	0.09
ベネズエラの通貨切下げによる損失	298	298	0.18
その他	4	31	0.01
調整後（非GAAP）	\$ 7,444	\$ 5,940	\$ 3.62

マイルストーン支払およびその他の研究開発費は、過去に発表した提携でのマイルストーン支払に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主に、研究開発提携、およびサードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。買収関連費用には主に、Stemcentrx社買収およびベーリンガーインゲルハイム社との提携に関連する補償金、融資等の費用、ならびにPharmacyclics社買収に関連する棚卸資産の買収日における公正価格の償却が含まれています。その他には、無形資産の減損損失に係る費用、当社の全世界的な経営合理化に関連した事業再編費用、税金引当金の増額に係る費用、過去に発表した提携でのマイルストーン支払収益、および特許訴訟の和解に関連した前期特許料収益が含まれています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2016年9カ月						
	売上高	売上原価	販売費 および 一般管理 費	研究開発 費	外部調達 に よる仕掛 研究開発 費	正味 為替差損	その他費 用 (正味)
調整前 (GAAP)	\$ 18,842	\$ 4,278	\$ 4,202	\$ 3,176	\$ 160	\$ 313	\$ 152
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	—	(554)	—	—	—	—	—
マイルストーン支払およびその他の研究開発費	—	—	—	(70)	—	—	—
外部調達による仕掛研究開発費	—	—	—	—	(160)	—	—
買収関連費用	—	(144)	(36)	(135)	—	—	(12)
偶発的対価の公正価格の変動	—	—	—	—	—	—	(145)
ベネズエラの通貨切下げによる損失	—	—	—	—	—	(298)	—
その他	(66)	(61)	(15)	6	—	—	—
調整後 (非GAAP)	\$ 18,776	\$ 3,519	\$ 4,151	\$ 2,977	\$ —	\$ 15	\$ (5)

3. 以下に詳細を示すとおり、2016年度第3四半期の調整後税率は20.2%でした。

	2016年9カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$ 5,886	\$ 1,324	22.5%
特定項目	1,558	180	11.6%
調整後 (非GAAP)	\$ 7,444	\$ 1,504	20.2%